

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 埼玉県立熊谷高等学校・小幡 喜一
2. 講師氏名: Dr. Mengnjo Jude WIRMVEM (Mr.)
3. 同行者氏名: 高木 健太 氏
4. 実施日時: 平成27年 2月23日 (月) 15:25~16:15
5. 参加生徒: 1年生 19人、 \_\_\_年生 \_\_\_人、 \_\_\_年生 \_\_\_人 (合計 19人)  
備考: (例:理数科の生徒) 総合的な学習の時間 熊高ゼミ「地学の課題研究」
6. 講演題目: (英文) Hydrology and its significance to water resources management  
(和文) 水文学とその水資源管理に対する重要性
7. 講演概要:  
I:私の国, カメルーンについて, 地理, 歴史, 言語, 文化, 社会生活, および天然資源。II:科学者になった動機。III:万国の経済成長は, 良質の飲料水の供給にリンクしている。カメルーンでは井戸水の半分は毒性を持っている。水文学(水文地球化学)では, 安定同位体を使って水の循環を調べ, 安全な水を確保していくかを研究している。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
  - (1)講演時間 40 分 質疑応答時間 10 分
  - (2)講演方法 (例:プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講演
  - (3)通訳 (例:同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
同行者によるサポート
  - (4)事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
講師から事前に送付された講演要旨を配布, 生徒が翻訳後, 対訳を配布
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: